

# 令和5年度町政運営基本方針並びに予算編成について

## 【町政運営基本方針】

新型コロナウイルス感染症は、本年5月8日に感染症法上の分類を第5類に引き下げることが政府により決定されましたが、いまだ収束には至っておらず、引き続き警戒が必要な状況が続いております。

また、新型コロナウイルス感染症からの経済回復に伴って、エネルギー需要が急拡大する一方で、世界的な天候不順や災害、再生可能エネルギーへの投資不足などの複合的な要因によって、エネルギー供給が拡大せず、歴史的なエネルギー価格の高騰が生じております。

これに追い打ちをかけるように、昨年2月にはロシアがウクライナに侵攻し、エネルギー価格の上昇はさらに加速し、一過性のものにとどまらない状況となっております。

さらに、アメリカのインフレに対応した金利の引き上げと原油価格高騰の影響により、円安が進み、昨年9月にはおよそ24年ぶりとなる円買い介入が実施されましたが、劇的な効果は得られず、資源価格の高騰と円安により、社会は混迷を極めた情勢となっております。

こうした状況は町財政へも、半導体不足による物資の納品の遅れや発注コストの増大、労働力不足や人件費の増加といった様々な影響をもたらしております。

令和4年度の本町の人口推計では、生産年齢人口の減少による将来的な税収の減少が見込まれ、老年人口の増加に伴う社会保障費の増加が続く見通しであり、現在の社会情勢は、町の財政負担をより一層増加させることを示唆するものと捉えております。

しかし、このように混迷を極めた社会情勢にあるからこそ、いったん立ち止まり、今何が大切なのかを再確認する必要があります。その上で町民の皆さまの生活をしっかりと支え、感染拡大を抑えつつ、地域の社会経済活動の本格的な正常化に向けて取り組んでいかななくてはなりません。

そのために限りある財源を有効に投資していくには、機に臨み変に應ずる決断力こそが重要だと考えております。

令和5年度当初予算につきましては、SDGsの理念のもと、これから50年、100年先に向けて高根沢町の未来を左右する大切な「今」と位置付け、地球温暖化に歯止めをかけるため、脱炭素ビジョンを策定し、カーボンニュー

トータルへの取組を町民の皆さまと推進していくこと、行政のデジタル化や災害時の防災拠点として、町民の暮らしが高まる庁舎整備を進めることを大きなテーマとして、新たな礎を築き上げてまいります。

さらに、「地域経営計画 2016 後期計画」に掲げている「子ども・教育・生涯学習分野」、「健康・サポート分野」、「魅力・活力分野」、「環境・社会基盤分野」、「安全・安心分野」、「マネジメント分野」の目標達成に向け、今為すべきことを見極め、決断力を発揮し、<sup>うんがいそうてん</sup>雲外蒼天を信じて、まちづくりを推進してまいります。

### 【予算編成について】

続きまして、令和5年度予算の概要について、ご説明申し上げます。

まず、一般会計でございますが、予算規模は102億1千万円であり、前年度予算の102億円と比較いたしますと、1千万円の増額、率にして0.1%の増となっております。

次に、各特別会計の予算額と前年度予算額との比較について説明いたします。

・国民健康保険特別会計は、24億5,037万8千円、保険給付費の減少により、3.7%の減となりました。

・後期高齢者医療特別会計は、3億1,593万1千円、後期高齢者医療広域連合納付金の減少により、2.4%の減となりました。

・介護保険特別会計は、23億7,608万1千円、保険給付費の増加により、2.6%の増となりました。

・宝積寺駅西第一土地区画整理事業特別会計は、2,094万4千円、関連工事の完了により、74.4%の減となりました。

続きまして、公営企業会計につきましては、収益的支出と資本的支出を合わせた予算規模になりますが、

- 水道事業会計は、8億5,914万4千円、0.3%の減となりました。
- 下水道事業会計は、13億4,952万6千円、2.3%の減となりました。

なお、下水道の整備率につきましては、令和4年度末では83.4%の見込みとなっており、令和5年度実施予定の整備面積を含めると86.3%となる見込みとなっております。

以上、7会計を合わせた令和5年度の予算総額は、175億8,200万4千円となり、前年度と比較しますと、1億2,849万9千円の減額、率にして0.7%減の予算編成となりました。

続きまして、地域経営計画の分野別事業を中心に説明させていただきます。

- 一つ目の「子ども・教育・生涯学習分野」につきましては、  
まず、公立保育園2園で実施している一時保育の開始年齢を生後6か月から生後2か月に拡大します。  
また、ひまわり保育園の新築工事に対し費用の一部補助を行い、安心して子育てができる環境の充実を図ります。  
次に、老朽化した阿久津中学校の改修など教育施設の整備に向け、基本設計に着手し、教育環境の整備に取り組みます。
- 二つ目の「健康・サポート分野」につきましては、  
まず、成年後見制度の中核機関を町に設置し、相談から書類作成まで包括的な支援に取り組めます。  
次に、後期高齢者の口腔機能低下を予防し、健康の保持を図るため歯科及び口腔機能の検査を行います。  
また、感染症予防のため、おたふくかぜの予防接種費用の一部助成を開始するとともに、生後6か月から13歳未満までのインフルエンザ予防接種の助成額を倍増します。

- 三つ目の「魅力・活力分野」につきましては、  
まず、情報発信力を強化するために、町ウェブサイトのリニューアルを行います。  
次に、道の駅たかねざわ元気あっぷむらを拠点とした魅力創出のため、受水槽の更新工事や LED 化を含めた電気機械設備の改修工事のための設計を行います。
- 四つ目の「環境・社会基盤分野」につきましては、  
まず、市街地の雨水対策のため、浸透ますの設置を行うとともに、浸水被害があった箇所の雨水排水計画を策定します。  
次に、2050 年脱炭素社会の実現のため脱炭素ビジョンの策定に取り組みます。
- 五つ目の「安全安心分野」につきましては、  
消防団活動を円滑に行うため、消防団員が消防ポンプ自動車の運転に必要な準中型免許を取得する際の補助を行います。
- 六つ目の「マネジメント分野」につきましては、  
新庁舎整備と公共施設の適正管理のため、新庁舎整備課を設置し、新庁舎整備基本構想及び新庁舎整備基本計画を策定するとともに、新庁舎の整備計画に必要な測量調査等を実施します。
- 令和5年度予算についての概要説明は、以上のとおりでございます。

#### 【結び】

令和3年度に策定した「地域経営計画 2016 後期計画」は、令和5年度には3年目を迎えますが、「希望の持てるまちを後世に引き継いでいく」ため、引き続き「くらし 高まる たかねざわ」をキャッチフレーズに町政運営に取り組むとともに、今ある状況に多様な創造を膨らませ、その時々の変化に適応していくことで魅力あるまちづくりにまい進する所存であります。

最後になりますが、議員各位並びに町民の皆さまには、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の所信といたします。